

ごあいさつ

徳島市長 原 秀 樹

徳島市民病院は、このたび設立 85 周年を迎えました。

県内で初めての公立病院として、昭和 3 年 2 月の開設以来、市民の皆様の医療ニーズに応えることはもとより、徳島東部圏域における中核的役割を担いながら、こうした節目を迎えることができましたのも、ひとえに地元の皆様方をはじめ、関係各位から賜りました格別のご理解とご協力によるものであり、ここに深く感謝を申し上げます。

この間、医療環境の変化や施設の老朽化等に伴い、極めて厳しい経営状況にも直面いたしました。地域の皆様に支えられ改革の努力を重ねる中で、著しく進歩する医療技術や、地域医療において果たすべき役割に的確に対応するため、平成 20 年 1 月には、最新の医療施設を開院して新たな一歩を踏み出し、順調に発展を続けているところでございます。

近年、急激な高齢化の進行や人口減少による社会構造の変化などに伴い、医療を取り巻く様々な課題への対応も急がれる中で、地域医療においては、機能の分担と連携による質の高い効率的な医療の提供が求められております。

こうした状況の中、市民病院は、救急医療環境の充実、医療サービスの向上、更なる経営基盤の強化に、職員一丸となって取り組むことにより、市民の皆様の信頼に確実に応えながら、徳島市がまちづくりの基本目標として掲げる「ぬくもりの社会づくり」の実現に向け、大きな役割を果たしていくことができるものと確信しております。

今後とも、まちの主役である市民の皆様に、「このまちに生まれてよかった、住んでよかった」と必ず実感していただけるよう、思いやり・信頼・安心の病院理念のもと、地域の中核病院として、皆様の健康な生活を守り続けてまいりますので、なお一層のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。